

科目名	先端血液解析学演習				分野・必選別・単位数	専門科目 (臨床検査技術学)	選択	2単位
科目責任者	◎准教授 福田晃子 准教授 藤原孝記					科目ナンバー	T4C111	
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習	
授業の概要	修士論文作成に必要な研究計画の立案、研究を実施するための様々な検査技術を身につける。また文献収集および解析、論文のまとめ方を修得する。							
授業の到達目標	①研究を遂行するための検査技術について知識を有している。 ②研究を遂行するために検査技術を活用できる。 ③症例を検査データとともに解析できる。 ④文献収集および血液検査学領域、輸血・移植免疫学領域の研究動向を説明できる。							
授業計画	回数	担当者		行動目標				
	1	福田 晃子	准教授	症例をベースにして、血液疾患の分子生物学的技術を解析できる。				
	2	福田 晃子	准教授					
	3	福田 晃子	准教授					
	4	福田 晃子	准教授	教員から提示される症例を検査データとともに解析できる。 ①病態を理解、考察するうえで必要な血液学的、分子生物学的、免疫学的検査法を説明できる。 ②敗血症例における血液凝固系・線溶系に異常が生じるメカニズムを説明できる。 ③輸血・細胞/器官移植を必要とする様々な症例において、HLAタイピングの意義、方法を説明できる。 ④輸血後移植片対宿主病(GVHD)の症例を例示できる。 ⑤感染症と凝固・線溶系異常の複合的病態の評価に有効な検査法を説明できる。				
	5	福田 晃子	准教授					
	6	福田 晃子	准教授					
	7	福田 晃子	准教授					
	8	藤原 孝記	准教授					
	9	藤原 孝記	准教授					
	10	藤原 孝記	准教授					
	11	福田 晃子	准教授	論文抄読を通して、血液検査学領域の研究動向を説明できる。				
	12	福田 晃子	准教授	論文抄読を通して、血液検査学領域の研究動向を説明できる。				
	13	福田 晃子	准教授	論文抄読を通して、血液検査学領域の研究動向を説明できる。				
	14	藤原 孝記	准教授	論文抄読を通して、輸血・移植免疫領域の研究動向を説明できる。				
15	藤原 孝記	准教授	論文抄読を通して、輸血・移植免疫領域の研究動向を説明できる。					
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回授業部分の資料を事前に読んでおくこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。						
教科書	随時指示する。							
参考書	随時指示する。							
成績評価の方法および基準	レポート50%、口頭試問50%							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							